

## NEWS RELEASE

報道関係各位

2014年11月14日

特定非営利活動法人がんサーネットジャパン

# がん患者さんのための『もっと知ってほしい 胆道がんのこと』 がん診療連携拠点病院 409 施設のがん患者相談窓口などに配布

特定非営利活動法人がんサーネットジャパンは、日本イーライリリー株式会社の制作支援、株式会社毎日放送、朝日新聞の医療サイトアピタルの協力のもと、胆道がんについて科学的根拠に基づいた正しい情報を提供することを目的に、『もっと知ってほしい 胆道がんのこと』の冊子を製作しました。今後、全国がん診療連携拠点病院の患者相談窓口409箇所に送付するとともに、各団体・企業などが実施するセミナー等でも配布いたします。また、がん医療情報サイト「がんサーチャンネル」(URL: <http://www.cancerchannel.jp/>)や、各社ホームページからもダウンロードできます。

『もっと知ってほしい胆道がんのこと』は、千葉大学大学院臓器制御外科学 教授 宮崎 勝先生と、杏林大学医学部内科学腫瘍内科 教授 古瀬 純司先生の監修のもと、胆道がんの概要をはじめ、検査や標準的な治療、副作用などについて、患者さんや、ご家族など支援される方が知っておきたい情報を、20ページにまとめています。また冊子には、胆道がん患者さんの体験談を“Patients Voice (患者の声)”として掲載しています。

胆道がんは、日本では決して珍しいがんではなく、年間2万人以上が新たに診断されています。男性では9番目、女性では7番目に患者数の多いがん、50歳代から増え始めて70歳代、80歳代の高齢者に多く見られます。胆道がんを克服するための治療法や、黄疸や痛みを軽減する治療法も確立しているため、病気を乗り越えて元気に生活されている患者さんも少なくありません。

『もっと知ってほしい 胆道がんのこと』の制作にあたり、米国で患者・家族に広く利用されているNCI (National Cancer Institute) 発刊の冊子などを参考に、患者・家族が納得して意思決定し、自分らしくがんと向き合えるように、そして、自らの病気や治療法を知り、学ぶことができるものを目指しました。全国のがん診療連携拠点病院での設置率も約70%<sup>1</sup>と、多くの方に利用していただけるようになりました。私たちの冊子が、今まさに治療と向き合っている方々の一助となることを願っています。



### 特定非営利活動法人がんサーネットジャパン

1991年二人の医師により、米国における乳がん患者向け冊子を翻訳・出版・無償配布した事に始まります。その後、各種がん患者向け書籍の出版、NCIがんサーファックスの翻訳提供(現在終了)、NCI PDQの翻訳Web公開(現在更新終了)、電話・手紙・メール・ファックスでの「セカンドオピニオンコール」等のサービスを提供してきました。2002年には、東京都よりNPO法人格を取得し、同年、がんサーネットジャパンホームページが日経インターネットアワードを受賞しました。2007年1月からは組織を一新し、専用事務局を開設し、がん医療の啓発イベントの開催、教育事業、市民へのがん啓発活動を行なっています。詳細はホームページをご覧ください。  
<http://www.cancernet.jp/>

<sup>1</sup> がんサーネットジャパン 2013年 がん診療連携拠点病院アンケート調査より

### 【冊子に関するお問い合わせ先】

NPO 法人がんサーネットジャパン  
Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073